

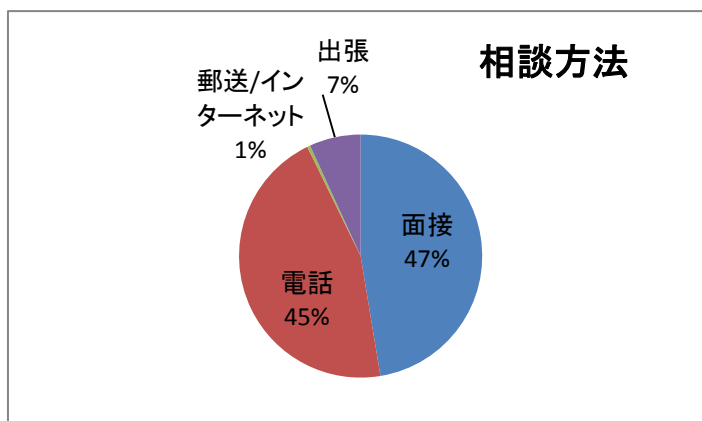
## 利用者支援事業『せとっ子すくすく相談』 28年度実績

(4月～3月)

## &lt;相談方法&gt;

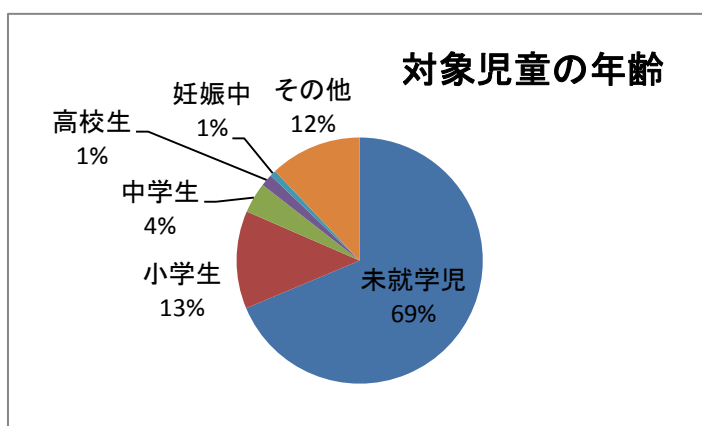
	人数
面接	118
電話	113
郵送/インターネット	1
出張	17
合計	249

(月平均 20.6人)



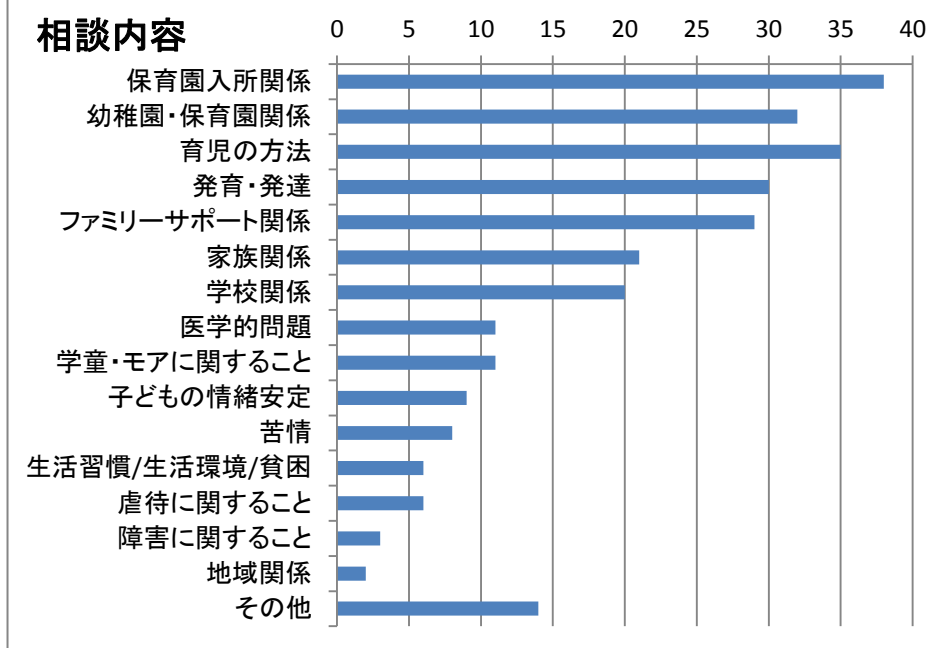
## &lt;対象児童の年齢&gt;

	人数
未就学児	171
小学生	32
中学生	10
高校生	4
妊娠中	2
その他	30
合計	249



## &lt;相談内容&gt;

相談内容	件数
保育園入所関係	38
幼稚園・保育園関係	32
育児の方法	35
発育・発達	30
ファミリーサポート関係	29
家族関係	21
学校関係	20
医学的問題	11
学童・モアに関すること	11
子どもの情緒安定	9
苦情	8
生活習慣/生活環境/貧困	6
虐待に関すること	6
障害に関すること	3
地域関係	2
その他	14
合計	275



☆相談件数の平成27年度は月平均13.6人で平成28年度は20.6人と増えている。保育園・幼稚園・各部署で配布していただいている相談のチラシや広報・ガイド等で知ってもらい、利用者も増えたと思われる。

☆面接と電話の割合はほぼ同じで、専用電話を4月から開設したことで電話を利用した相談も多くなった。

☆出張相談は、他部署との関係がスムーズになってきたことから要請されたり、意識して子育てサロンやイベント会場に出向くことで現地で受けたりしている。

☆母子保健型利用者支援事業ができたことで、出産前、出産直後の相談は健康課の方に主に相談されるようになった。

☆相談者の7割近くは未就園児。(割合的には昨年度と変わっていない。)

☆小学生、中学生に関しての相談は、学校教育課に案内していく内容が多い。

☆その他:子育て家庭ではないが、近所だから気にして下さる、心配して下さる、孫家族の相談、学童、学校の先生からの相談等が多い。

☆保育園入所関係としては、待機児童問題や入所の手続きを聞きたいというご質問が多く寄せられました。

☆母子保健型が立ち上がったことで、場所は離れていますが、健康課とより密に連携が取れるようになってきた。(転入の方、心配な方等)

☆関係部署につなげていく相談が多いため、皆さんには大変お世話になっています。

☆ケース検討会議につなげていく相談も多い。

☆平成28年度で、新たな内容としては、貧困についての相談があり、近隣の子どもさんのことについて心配して下さったり、実際生活に困る話等があり、生活保護や生活安全課、当事者等との話し合いの場を設けるなどして、子どもさんにとってより良い手立てを考えていきました。

☆幼稚園関係としては

- ・育児に関すること
- ・働き出したけれど夏休み、冬休みに、預かる所を探している。
- ・他市からかわって来た方→幼稚園保育園情報(どこにあるのか知りたい。)  
→パンフレット活用